

議会 だより



宇波西神社例祭

議長・副議長挨拶、新議会構成図	2~3
平成30年度当初予算	4~6
3月定例会	7
常任委員会の動き	8~9
一般質問	10~12

各委員会・組合議会報告・全員協議会	13~15
知っ得議会シリーズ®	15
町のトピックス	16
編集後記	16

議長あいさつ

議長 崎元 良栄



町民の皆様におかれましては、平素より町議会に対しまして、格段のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

この度、3月定例会議におきまして、議長に就任させていただきました。よろしくお願いいたします。

本町におきましては、人口減少・少子高齢化や、空屋対策等、諸問題が山積しておりますが、政策提言、立案に取り組み、より安全、安心で暮らせる町づくりに努力してまいります。

さらに、美浜発電所の長期運転停止、また、1、2号機の廃炉に伴う地域経済の影響や、3号機の再稼働に対する安全対策等、エネルギー問題に対しても将来を見据えた政策が必要と考えます。町議会として、役割と責任を自覚し信頼される議会を目指していきたいと思っております。

最後に、毎年行なっている「議会と語るう会」ですが、少なくとも2回以上行ない、皆様とより良い意見交換が出来るよう、また、多くの住民の声をお聞きし、議会に反映させていきたいと思っております。

これからも、議会として一生懸命活動していきますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

平成30年美浜町議会構成が変わりました

第17期 美浜町議会構成図

議長 崎元 良栄
副議長 梅津 隆久

議会運営委員会

◎山口 和治
○藤本 悟
北村 晋
川畑 忠之
辻井 雅之
河本 猛

◎…委員長
○…副委員長

予算決算常任委員会

◎梅津 隆久
○兵庫 賢一
竹仲 良廣
北村 晋
藤本 悟
山口 和治
松下 照幸
川畑 忠之
辻井 雅之
河本 猛
寺田 順一
高橋 修
仲寫 正一

総務文教常任委員会



◎兵庫 賢一 ○河本 猛



竹仲 良廣 藤本 悟 崎元 良栄



寺田 順一 仲寫 正一

副議長あいさつ

副議長 梅津 隆久



この度、3月の定例議会において副議長に就任させて頂きました。どうぞよろしくお願ひ致します。

議会基本条例に基づき、町民の皆様のご意見に応えるべく活動し、その意思を町政に的確に反映して参りたいと思います。

日本経済は緩やかな回復傾向で推移しており、今後も、堅調な海外景気や非製造業の投資需要の高まりなどを背景に穏やかな景気回復が予想されます。

このような中で、美浜町スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化事業を進めるべく地域づくり拠点化整備基本計画策定委員会にて検討を進めていますが、この3月から議会においても特別委員会を立ち上げ、町民の皆様の希望を反映し、町の活性化に繋いでいきたいと思ひます。

また、本年9月29日から、福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会が開催されます。行政と共に、交流人口の増加をいかに町の経済に取り込むか等、様々な課題の克服と大会の成功に努めていきたいと思ひます。

美浜町の将来に夢と希望を持って日々安心して暮らせる町づくりに、議会として取り組んで参りたいと考えています。町民の皆様のご指導、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

産業厚生常任委員会



◎辻井 雅之



○松下 照幸



北村 晋



山口 和治



川畑 忠之



梅津 隆久



高橋 修

原子力発電所特別委員会

- ◎藤 本 悟
- 川 畑 忠之
- 北 村 晋
- 松 下 照幸
- 河 本 隆久
- 梅 津 正
- 仲 寫

議会広報特別委員会

- ◎辻 井 雅 之一
- 寺 田 順 良
- 竹 仲 賢 一
- 兵 庫 賢 一
- 山 口 猛
- 崎 元 正
- 高 橋 正

地域づくり拠点化整備特別委員会

- ◎竹 仲 良 廣
- 山 口 和 治
- 兵 庫 賢 一
- 辻 井 雅 一
- 河 本 隆 一
- 梅 津 隆 久
- 高 橋 修

美浜・三方環境衛生組合議会

- (組合議長) 崎元 良栄
- 北村 晋
- 藤本 悟
- 山口 和治
- 寺田 順一
- 高橋 修

敦賀美方消防組合議会

- (代表者) 川畑 忠之
- 兵庫 賢一
- 河本 猛
- 仲寫 正一

嶺南広域行政組合議会

- (代表者) 崎元 良栄
- 梅津 隆久

公立小浜病院組合議会

- (常任委員) 辻井 雅之
- 竹仲 良廣
- 松下 照幸

福井県後期高齢者医療広域連合

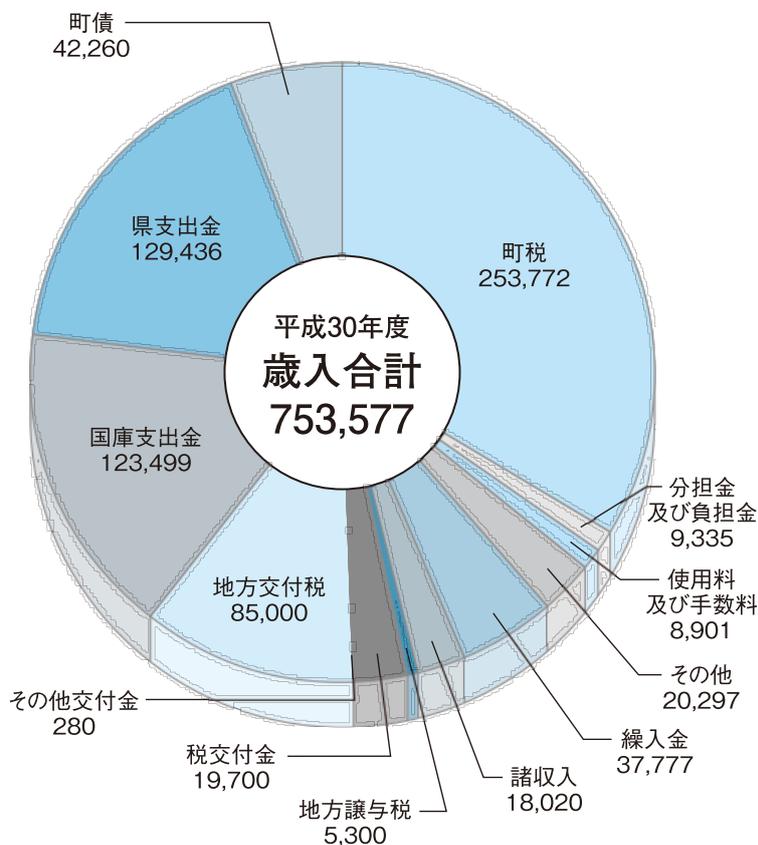
- 崎元 良栄

平成30年度 当初予算決まる 総額 117億4,084万円

平成30年2月7日 第1回臨時議会

一般会計 歳入予算額

(単位: 万円)



2月7日から14日まで、平成30年第1回的美浜町議会臨時会が8日間の日程で開かれ、平成30年度の一般会計、特別会計及び企業会計が可決承認されました。

平成30年度 当初予算を可決

今年度の当初予算は、「第5次美浜町総合振興計画」と「美浜創生総合戦略」に掲げる施策を基に予算編成が行われ、昨年度に引き続き、積極的な予算となりました。

今年、「福井しあわせ元気」国体と障害者スポーツ大会が福井県で開催されます。美浜町では、県の天皇杯総合優勝の貢献に大きな期待がかかるボート競技と、軟式野球、美浜町が誇る多目的屋内運動場において障害者ゲートボール大会が行なわれます。

また、30周年記念を迎える節目の行事として、平成元年から始まった五木ひろしまラソンと台湾の石門区との姉妹都市提携記念事業が控えており、今年が目玉イベントとなります。

○一般会計	75億	3,577万円
○特別会計	39億	288万円
○企業会計	3億	219万円
(上水道事業会計)		

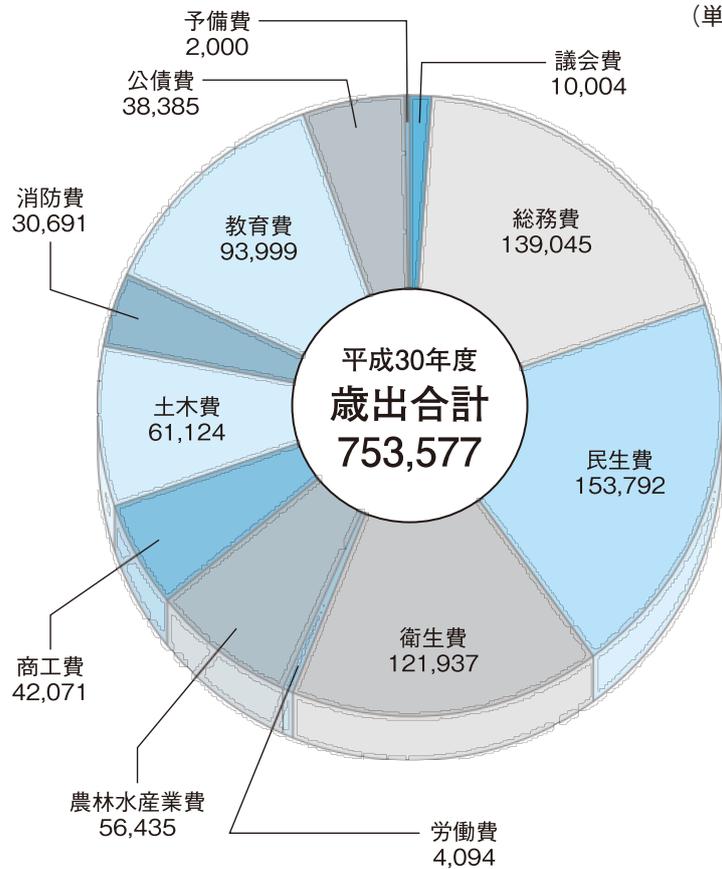
特別会計・企業会計

(単位:万円)

会計区分		予算額
特別会計	診療所事業	15,185
	国民健康保険事業	117,955
	後期高齢者医療事業	12,058
	介護保険事業	121,465
	簡易水道事業	21,284
	集落排水処理事業	16,358
	公共下水道事業	50,992
	産業団地事業	894
	住宅団地事業	7,552
	道路用地取得事業	26,545
	小計	390,288
企業会計	上水道事業	30,219

一般会計 歳出予算額

(単位:万円)



関西電力(株)の1、2号機の廃炉や、隣接する敦賀市の「もんじゅ」の廃炉は、原子力と共生共存してきた町としては、感慨深いものもあります。廃炉に向けた事業や新しい研究開発に期待がかかります。また町では、将来にむけて新たにエネルギービジョンに取り組むことになりました。また、少子高齢化や高齢者の福祉問題、そして、社会現象である人口減少の課題は、避けては通れません。今後の産業団地や住宅団地の拡充を踏まえ、しっかり見守りたいと考えます。

(辻井記)

平成 30 年度 一般会計予算概要 (主要事業)

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項) ●: 新規事業 ○: 拡充事業

(単位: 万円)

款	補正額	主要事項	金額	事業概要等
総務費	139,044	● 国際交流事業	980	・台湾新北市石門区との姉妹都市提携 30 周年を記念して開催する記念式典及び交流会等に係る経費
		○ エネルギー環境教育体験館運営事業	8,539	・エネルギー環境教育体験館「きいばす」の維持管理や体験プログラムの運営、イベント開催に係る経費 など
		○ 福井国体推進事業	19,093	福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催に係る経費 ・競技運営に係る経費 ・大会実行委員会に対する運営費補助 など
		○ 福井国体花いっぱい推進事業	1,156	福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会に向けての花いっぱい運動、美化運動の実施に係る経費 ・コスモス播種イベントの実施やプランター育成管理に係る経費 など
		○ 美し美浜「インバウンド」雇用創出プロジェクト事業	1,821	・プロモーションビデオの映像を活用した、海外への営業活動に係る経費 ・出向宣伝や美浜タブロイド紙(案内誌)の作成に係る経費 など
		○ 移住・定住促進事業	799	・著名なクリエイター(作家)の多地域居住活動等に係る経費 ・若者夫婦世帯等定住促進家賃補助 など
		○ 地域ブランディング事業	999	・地域ブランディングサイトの構築や情報発信等に係る経費 ・移住定住促進空家見学ツアーの実施に係る経費 など
民生費	153,791	○ 保健福祉センター大規模改修事業	1,297	・空調設備、空調受変電設備や浴室及び機械室配管等の改修工事に係る設計業務の実施
		○ 隣保館改修事業	3,711	隣保館改修工事に係る経費 ・文化会館の屋上、外壁及びトイレ改修工事の実施 など
		○ デイサービスセンター改修事業	1,386	・外壁コンクリート壁の改修工事やエレベーターの修繕工事、高圧気中開閉器の取替工事等の実施
衛生費	121,937	○ 美しみはま虹彩食推進事業	117	・げんげん運動の「食部門の強化」として、町内で採れる旬の野菜を中心とした菜膳メニューの開発や料理講習会、開発メニューの普及に係る経費
		● 楽膳の里運動推進事業	634	・げんげん運動の「運動部門の強化」として、健康プログラムを活用した運動習慣の確立に係る経費
農林水産業費	56,435	○ 収益性の高い水田農業経営確立支援事業	3,000	・収益性の高い水田農業経営の確立のための支援事業費補助(黒エダマメ用選別・計量・包装システム等購入補助)
		○ 園芸産地総合支援事業	603	・施設園芸や露地園芸の産地育成に必要な施設等の整備費補助(パイプハウスの整備費補助)
		○ 新規就農者支援事業	791	・農業法人等での研修期間中や経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の新規就農者等に対する支援補助
		○ 緑のふるさと協力隊受入事業	326	・農山村で暮らしながら地域の活性化に取り組む「緑のふるさと協力隊」の受け入れに係る経費 など
		○ ゆうあいひろば管理事業	3,225	・ゆうあいひろばの維持管理に係る経費 ・イベント広場及び管理棟屋根の改修工事の実施
		● 久天子湖再生強化事業	7,700	・久天子湖の自然を再生させることを目的に、水質改善活動やシジミの増産と特産化に向けた、久天子湖浅場造成事業に係る経費
商工費	42,071	○ 企業誘致促進事業	22,084	・企業誘致活動や若狭美浜インター産業団地の維持管理に係る経費 ・企業誘致条例に基づく企業立地助成金及び雇用促進奨励金の交付 など
		○ 三方五湖ゾーン整備事業	4,143	・久天子湖、日向湖を周遊するサイクリングコース等の整備に係る経費 ・新美浜町レークセンター(仮称)への再生可能エネルギー導入可能性調査の実施
		● 民宿等活性化事業	200	・民宿経営者等に対して、海外宿泊サイトへの登録支援や若手民宿経営者との連携支援、研修会の開催など民宿活性化に係る経費
土木費	61,124	○ 多世帯同居・近居住まい支援事業	900	・町内で同居または近居をしようとする方へのリフォーム費用もしくは新築費用に対する補助
		○ 町道佐柿・郷市線道路改良事業	30,242	・耳川橋改築工事及び消雪設備整備工事設計業務の実施
		○ 町道太田・上野線道路改良事業	1,450	・道路改良工事に伴う実施設計業務の実施及び道路用地購入費
		○ 町道駅前線道路改良事業	2,301	・道路改良工事に伴う測量・調査設計業務の実施
		○ 美浜町スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化事業	4,179	・立地適正化計画及び景観計画の策定業務の実施 ・地域づくり拠点化整備計画策定業務の実施 など
教育費	93,999	● 学校図書館システム整備事業	115	・小学校図書館システムの導入に係る経費(モデル校1校を指定して導入)
		○ ホームステイ事業	968	・台湾新北市石門区への美浜中学校生徒の訪問及び石門国民中学校生徒の受入れに係る経費
		● 部活動指導員配置事業	87	・中学校教員の業務負担軽減を図ることを目的とする部活動指導員の配置に係る経費
		○ 興道寺廃寺保存活用事業	528	・保存活用計画策定に係る経費 ・興道寺廃寺を核とした普及啓発事業に係る経費(スタンプラリー、ウォーキング現地探訪等の実施)
		○ 美浜・五木ひろしまラソン開催事業	1,549	・第 30 回美浜・五木ひろしまラソン(5月13日開催)の開催にかかる経費
		● 美浜・五木ひろしまラソン記念事業	2,958	・第 30 回を迎える美浜・五木ひろしまラソン記念事業として実施するチャリティーコンサートに係る経費
		○ 給食センター施設設備等更新事業	5,652	・厨房設備、厨房機器等の更新工事に係る経費 ・調理従事者用トイレ改修工事の実施 ・システム食器洗浄機や食器浸漬装置等の更新工事の実施

3月定例会 (3月19日～28日)

3月定例会が、19日から28日までの10日間の会期で開催され、
26議案と同意5案が上程され、全て可決されました。

3月定例会は、美浜町第17期の議員改選が行われた最初の議会で、現職9名、元職2名、新人3名の定員14名で始まりました。最初に、仮議長の進行で全員協議会を開催し、本議会前の打ち合わせを行いました。引き続き本議会を開き、最初に議長の選挙、議席の指定、会期の決定と続き、副議長の選挙が行われました。この後、議会運営委員会の立ち上げを皮切りに、各常任委員会、特別委員会を立ち上げ、各々の委員長、副委員長が互選されました。

今期から、新聞の紙面でも公表された美浜スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化事業について、議会側から検討を行なうため「地域づくり拠点化整備特別委員会」を設置することも可決されました。

町議会と一緒に、広域で構成する組合議会も新しく組織されました。第17期美浜町議会議員の組織構成は、議会だよりの2～3項の構成になります。

次項以降に、各委員会での主な審議と今議会では、最終日に行われた一般質問を掲載しました。(辻井記)



第17期美浜町議会

平成29年度 一般会計 3月補正予算概要

予算規模	補正額	1億8,700万円	補正後 予算総額	94億2,466万円
------	-----	-----------	-------------	------------

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位:万円)

款	補正額	主要事項	金額	事業概要等
総務費	89	ふるさと応援基金積立金	5,952	ふるさと納税寄附金を財源に、美浜町総合振興計画に掲げる将来像の実現に向け必要な資金を積立てる
		田中健記念ふるさと美浜「未来の懸け橋」基金積立金	1,000	青少年の健全な育成や国際交流事業、スポーツの振興などを推進するため必要な資金を積立てる
商工費	21,902	企業誘致助成事業基金積立金	23,297	企業誘致助成事業に必要な資金を積立てる
土木費	5,658	町道日向線道路改良事業基金積立金	4,500	町道日向線道路改良事業に必要な資金を積立てる
		町道太田・上野線道路改良事業基金積立金	5,500	町道太田・上野線道路改良事業に必要な資金を積立てる
災害復旧費	2,774	道路橋梁災害復旧事業	2,774	台風21号により被災した町道金安線の災害復旧工事費

●専決処分の承認を求めることについて(平成29年度美浜町一般会計補正予算(第7号))

問 雪害対策で3500万円の業者委託・区委託等があったが、どれくらいの出動件数か。

答 12月17日から2月17日までの間に25回出動している。そのうち、全出動が5回、5日間である。

問 各地域に委託している除雪作業員は高齢化してきているようだが、後継等の心配はないのか。



除雪作業

答 町内委託業者は25社、団体・区にお願いしているのが14団体あり、高齢化の問題も出ている。今、進めているのが区に機械を貸し出し、区で実施依頼している。

問 除雪によるガードレールや舗装路面の損傷の対応処置は。

答 器物の補修は除雪費で対応し、道路については道路維持費で対応する。

●平成29年度美浜町一般会計補正予算(第8号)

歳出
(議会費・農林水産業費)

問 福鉄バスのダイヤ数と利用者数は。

答 平成28年10月から平成29年9月までの間において、菅浜線は5往復3万8208人、若狭線は6往復4万4663人という状況である。

問 レイクヒルズ美方病院の美浜町負担金が減ったが、運営が良くなったかと思えてよいのか。

答 当初予算時の概算計上額が精査され、確定した額と理解願いたい。運営状況は医療の部門は増えてきているが、人件費も増えてきていて、依然として厳しい経営状況にある。

問 医療費の中学生までの助成を高校生までに引き上げて、医療機関を



福鉄バス(美浜駅発)

受診しやすい、住民に優しい状況を作れないか。

答 財政の方とも相談し検討する。

(商工費・災害復旧費)

問 集会場等は災害時の避難場所に指定されているが、耐震診断時の補助金、耐震後の町・県・国の補助率はどれくらいか。

答 耐震診断1・0以下になると国から耐震補助という制度がある。修繕・改修・増築で100万円以上の工事に対し3分の1の補助、新築・改築は1500万円を上限に3分の1の補助を受けることが出来る。

問 興道寺廃寺跡について、国の史跡指定を受けたが、タブレットやスマートフォン等を活用して、その姿を分かりやすく見せる工夫はできないか。

答 これから検討委員会を立ち上げ、保存活用計画について、学識経験者や地元地権者等の意見を踏まえながら、2年間の予定で検討を進めていく。



興道寺廃寺周辺古代景観復元イラスト図

問 (繰越明許費・地方債補正・歳入) 今年度の核燃料料税はどれくらいのか。

答 29年度は今回の補正と合わせて5億円の見込みである。30年度の当初予算については、4億5000万円を見込んでいます。

問 29年度末で、まちづくり基金と財政調整基金の残額はいくらか。

答 今回の積み立てで約9億2700万円の見込みで、基金は約2億円になる。
(梅津記)

**総務文教
常任委員会**

付託案件4件

●美浜町個人情報保護条例及び美浜町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律が一部改正されたことに伴う改正で、個人情報の定義の明確化と要配慮個人情報の取り扱いに関する件が主な内容です。

条例に対する町の認識と対応についての質問がありました。

●田中健記念ふるさと美浜「未来の懸け橋」基金条例の制定について

本町出身で元東京美浜会会長の田中健氏から寄付金が寄せられ、ご本人の意思を尊重し、本町出身者との交流を深めるための事業資金として積み立てるための条例です。



なびカフェ「星の子」

●福井県市町総合事務組合理約の変更及び財産処分について

同事務組合から、こしの国広域事務組合が脱退することに伴うものです。

●美浜町生涯学習センター及びあすの喫茶の指定管理者の指定について

同喫茶の運営を、これまでにも社会福祉法人はこべ福祉会が行ってきましたが、指定の期間が過ぎるため、引き続き管理を委ねるものです。
(兵庫記)

**産業厚生
常任委員会**

付託案件14件

国民健康保険・介護関係等福祉関連の9議案、その他土木関係等5議案を審議し全て承認されました。

●美浜町国民健康保険健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 国保制度の改正による町民の負担はどうか。

答 今度の制度では県が財政運営の主体となり、美浜町が担う分を納付金として県に納める。所得や条件に応じて負担は変わるが、全体的にみるとあまり変わらない。



湖岳の郷

●美浜町道太田・上野線道路改良事業基金条例の制定について

問 この事業は、電源立地交付金を基金にして積立てし、工事を行うと思うが、金額と工期はどれくらいか。

答 今回5500万円の基金を積立てし、2年間で設計と工事を済ませたい。

●美浜町障害認定審査会の委員の定数を定める条例の制定について

問 障害認定審査委員にはどのような人が就くのか。

答 現在の介護認定審査会の委員が2足のワラジを履くことになり、医師、関係施設の職員、保健師等が対象となる。
(辻井記)



やはす苑

質 問

3月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



河本 猛 議員

福井豪雪と原子力災害時の広域避難先について

問 記録的大雪となった今回の福井豪雪で、改めて広域避難先の設定に疑問が持たれている。今回、8号線、北陸道、中部縦貫道がストップした。豪雪時に地震や原発事故という多重災害になれば、避難も困難になる。避難先も受け入れ対応がでない事態になるのではないかと。広域避難計画の抜本的な見直し、再検討が必要だと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 結論から言うと、指摘のとおり、見直すことを念頭に検討する必要があると考えている。町としても、降雪時における避難経路の確保について、国の地域原子力防災協議会において、必要な検討を行うよう要請していきたい。

意見 大野市への避難は困難である。住民を守ることができない

現在の避難計画では、再稼働に同意すべきではない。行政の責任で住民を守ることができないのであれば、今すぐに廃炉を決断すべきだ。

町政アンケートや報道による原発問題について

問 新聞報道の世論調査によれば、将来的に原発ゼロを望む声は64%。今すぐゼロというのが11%。合計すると75%と、原発ゼロを望む声は高い数値を示している。町民アンケートの中には「原発依存の考えから方向転換を考えてほしい」「原発に依存したままでは他から完全に取り残される」「原発にかわる産業をつくってほしい」という意見があった。この切実な声にこそ町行政は真剣に向き合うべきだ。

町長 私も、町民の声を町政に反映させることは原則であると考えている。選挙公約でも、原子力に関して共生していきたいと、町民に真意を問うたつもりである。平成26年に行った町民アンケートでは、2000人に対して、1114名の回答をいただいた。その中で、原子力の共生についての項目では、重

要である、あるいはやや重要であるという回答が589名、52.9%。一方で、あまり重要でない、重要でないという回答が85名、7.6%という結果になっている。

意見 これからは、自治体、企業、住民が再エネ化に積極的に取り組むことが、社会的責任を果たすことに繋がる。原発に固執するのではなく、再生可能エネルギーの普及・促進を国や関西電力に求めていくべきだ。

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金について

問 遊覧船を運用する事業者もいないのに、ソーラー船を設計し、可能性を調査しても、それが町の活性化や町民の利益になるとは想像できない。ソーラー船の事業が将来的に、原発依存度の低下につながるのか。

エネルギー政策課長 原子力発電の依存度低下というために、こういった事業について取り組んでいるのではない。



兵庫 賢一 議員

町所有の遊休地の現状と今後の活用について

問 町には、役目が終わり活用されていない土地や、施策実現の目的で購入・整備したが未利用になっている土地が多く存在するが、どれくらいあるのか。

総務課長 合計約21万6千㎡ある。若狭美浜インター産業団地が約12万1千㎡、美浜東美し野ニュータウンの用地が約3万5千㎡、松原産業団地は約9千㎡あり、売り払いを目的とし管理している。残りの約5万㎡は、主に公営住宅の跡地や道路整備の残地である。

問 次の4件の土地について、それぞれの現状と今後の利活用を伺う。

①産業活性化拠点施設整備事業用地 ②松原産業団地 ③美浜中体育館南西横町有地 ④旧畜産センター跡地

質問、返答については質問者の
文責で掲載しています。

企画政策課長 ①については、用地の一角に青池学園が開校、温泉給湯施設は、業務用利用者5社が利用、はあとびあでも利用している。隣接の土地は、ポート・野球等の大会時のバスの駐車場として利用を図っている。今後観光3ゾーンの1つ三方五湖ゾーンにあるので諸情勢を見極めながら一体的に検討を進めたい。

②関西電子ビームの残りは、売却すべきであるが、有償にて貸し付ける事も検討している。
③④については、売却を視野に検討を進める。

問 地域対策事業で出来た残地の処分について、経過と現状、今後の対策について伺う。

土木建築課長 村づくり委員会の協力を得ながら進めている。隣接する土地の所有者への譲渡を基本に交渉を進めているが、難航している。残地処分の趣旨徹底・理解を得ることに努め、早期解決を目指したい。

町の道路整備について

問 高島市へ通じる道路整備計画の進捗状況は。

土木建築課長 新庄区民一同で期成同盟会を立ち上げ、要望活動を行っている。国・県・高島

市に必要性を理解頂いて、両市町による同盟会が出来るように活動を行っていききたい。

問 県道松屋〜河原市線の新庄立岩付近の安全対策と、JA交差点から町道和田線への整備計画の進捗状況について伺いたい。

土木建築課長 立岩については、パトローンを強化しており、県土木に安全管理の徹底を要望していきたい。平成28・29年度に、

JR西日本、県、町とで町道笹田〜河原市線の事前協議を行い、30年度から県庁内の協議が始まる予定で、順調に行けば都市計画道路の変更協議を始め、その後概略設計に入る見込みである。

問 梅街道を県道に格上げするよう要望できないか、他市町の動きは。

土木建築課長 町として要望した経緯はあるが実現せず、現在は行っていない。JAからの道路整備については要望していく。他市町の具体的な活動は無かった。

問 梅街道の管理に必要な経費は、町の道路管理の経費のどれくらいを占めるのか。

土木建築課長 経費については、5カ年の平均が1千4百10万円で、町全体では1億5千7百万円なので、9%である。



梅津 隆久 議員

県道33号線(県道白木線)町道移管後の保全管理について

問 海岸浸食対策工事等を実施してきているが、新たに乙見から北田間の波打ち際の浸食が見られることから県へ調査・改修を再三要望しているが、県との対応状況をお伺いしたい。

町長 重要な道路であるが、今までは山側が主で目を配ってきたが海側は波の浸食防止策が必要と考える。県に対し、都度情報提供も行いながら知事要望もしている。

土木建築課長 県では、波の影響を受ける箇所については今後とも定期的なパトロールにて適切な道路管理を行っていく。また、情報提供を踏まえ県へ越波対策等を要望していきたい。

問 弁天崎から丹生方面の法面崩落工事が遅延さみであるが、観光面、海水浴シーズン等、往來危険回避の観点から町として県への修復要請度合をお聞き

したい。
斜面の風化が深層まで及んでおり、大規模な工事が必要であることから、完成は秋頃になる見込みと聞いている。今後、完了までの間の交通規制方法等について、関係者と協議し県とも連携しながら取り組んでいきたい。

問 原子力災害抑制圧道路の開通は来年夏頃と言われているが、開通後、町道として移管された後の維持管理の経費確保についてお聞きしたい。

土木建築課長 現状の不具合箇所も考慮し、県からの引き受け条件等の詳細については、今後、合同現地調査等を実施し、要望事項を精査・協議し移管を受ける。また、6・3km(北田の入り口)第三トンネル出口まで)間の年間維持費は300万程度と予想し、道路維持事業費の中で対応していきたいと考える。

もんじゅ廃炉対策に関する美浜町への地域振興策について

問 美浜町エネルギー環境教育体験館きいばすの維持管理費の財源確保であるが、当面は高速炉サイクル技術研究開発促進交付金事業基金で10年程度は

一般質問

3月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しています。

賄えると考えているが、その後の財源確保の見直しをお聞きたい。

町長 この施設の重要性は国・県・事業者も理解しており、応分の協力体制を頂き、協力体制はしっかり出来ていると理解している。

エネルギー政策課長 現状の交付金で基本的には10年程度運営可能と考えるが、他の財源についてはエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金でイベント、講座の開催、見学バス経費等に活用していきたい。将来の運営財源はもちろんのこと、運営主体のあり方についても検討していきたい。

問 美浜町エネルギー環境教育体験館きいばすスタッフ不足解消のための手立てとして、人材派遣や日本原子力研究開発機構の職員出向等、地域振興策の一つとして要請し、運営管理の改善を検討していく考えはないのか。

エネルギー政策課長 教育委員会から教員1名を派遣して頂いている。事業者、県とも協議していきたいと考えている。30年度に向けては、臨時的な職員の任用や、工学系大学を出て教員免許を持っている方についても臨時任用でスタッフ確保を補っていただきたいと考えている。



辻井 雅之 議員

高齢ドライバーの運転免許証の自主返納について

問 近年高齢者の運転危機管理も高まり、運転免許証の自主返納が増えていると聞く。町において、返納の啓発はどのように行っているのか。また、人数はどのくらいか。

町長 交通便の少ない地方においては、運転免許証は足の確保という面で、非常に重要なものである。高齢者が交通事故の被害者から加害者になるケースが増え、過誤運転や認知症等が社会問題化している。それらの防止に伴う道路交通法が改正され、町でも色々な方法で高齢者の事故防止啓発を行っている。

住民環境課長 高齢者の免許返納については、町では広報みはまや町のホームページ等で適宜周知している。また、町内のグ

ープ活動や老人クラブ大会に町職員が出向き、自主返納の説明を行っている。免許証の自主返納者数は、平成27年は14名、28年は16名、昨年は25名と増加傾向にある。

免許証返納者への特典は

問 返納者に対し、コミュニティバス等の利用に特典があると聞くがどのようなものか。

住民環境課長 町では、免許証の有効期限まで使用できるコミュニティバスの無料券、最短で1年間を交付している。無料期間終了後は、65歳以上の方にはシルバーパスと称した割引定期券を発行しており、今年3月までに46件の利用がある。また、75歳以上の自主返納者には、タクシーの1割引や県内230店舗での商品割引制度もあると聞く。

屋外看板の整備状況について

問 町内の屋外看板は、条例改正により適合整備が進めら

れている。国体も控える中、進捗状況は。

町長 支援制度が非常に効果を上げ、看板設置者にもご理解ご協力を得て、町の看板環境は整備されてきた。

土木建築課長 県の屋外広告物条例が改正され、新基準に適合しない屋外広告物94件の撤去・改修は、平成30年8月までに75パーセントを完了する予定である。今年度は、観光・民間・町内ガイドラインを調査検討し、デザインの統一化と景観に配慮し、町内の主要場所3ヶ所に設置を予定している。

町内の大型掲示板の修繕について

問 町内にある、電源立地交付金で建てられた掲示板のアクリル板が、すりガラス状になり掲示物が見にくい状態なので、修繕を要望する。

エネルギー政策課長 経年劣化によるもので、来年度から計画的に悪いところから補修していきたい。

嶺南広域行政組合議会

嶺南広域行政組合議会定例会

3月27日、敦賀市のプラザ萬象において、平成30年度第1回の定例会が開催されました。初めに、3月の美浜町議会の議員改選とおおい町長選挙に伴う組合議員の改選で、おおい町の中塚町長、美浜町議会の崎元議長と梅津副議長の紹介が行われた後、報告事項1件と3議案の審議を行ない、全て可決承認されました。

●嶺南地域有害鳥獣処理施設に係る

報告

一、不適切な会計処理により施設管理
理者変更

(株)ゼロカンパニーから(有)夢源

建築

不適切な請求分

455万3214円

全額6市町へ返納

二、食肉処理加工施設管理者決定(有)

音海興産

三、平成29年度有害鳥獣処理頭数
7906頭

●議案内容

一、第一号議案 平成29年度一般会
計補正予算

歳入・歳出それぞれ6082万
8千円増額し、歳入・歳出
予算総額を9億2702万
8千円とする。

二、第二号議案 平成30年度一般会
計予算

歳入・歳出それぞれ8億
7145万3千円とする。
一時借入金の最高額は1千
万円と定める。

三、こしの国広域事務組合の脱退に
ついて
(梅津記)



敦賀・美方消防組合議会

平成29年度一般会計補正予算・

平成30年度一般会計予算(他2議案)

3月27日に、敦賀消防本部3階議
場において、平成30年第1回敦賀美
方消防組合議会定例会が開催されま
した。

平成29年度一般会計補正予算では、
予算総額から、それぞれ490万円
を減額し、総額14億6136万7千
円としました。主な内容は、2名分
の退職手当の計上、職員給与1名分
の減額、車両器具等購入費から入札
差金分を減額、平成28年度借入れし
た公債償還利子の不用額を減額計上
されました。

平成30年度一般会計予算は、
15億4116万円が計上され、前
年度比7.7%の増額となりました。
主な内容は、火災発生時における消
防水利の確保と自主防災体制の強化
を図るため、敦賀市内に耐震性貯水
槽の新設が計上され、車両器具等購
入費においては、緊急車両の更新と
して、美浜消防団(第4分団第5部

郷市)に、災害対応力の強化を図る
ために、消防ポンプ自動車を配置さ
れることとなりました。

また、危険物貯蔵所の設置申請
許可の審査に係る手数料の改定に
関する手数料徴収条例一部改正を
審議し、4件すべての議案を可決
しました。
(川畑記)



美浜消防署

小浜病院組合議会

去る3月29日、レイクヒルズ美方病院にて小浜病院組合議会定例議会に向けての事前説明会が行われ、病院の概況と平成30年第1回定例議会の議案書詳細説明及びその協議がなされました。

レイクヒルズ美方病院は、これまで経営改善に向けた「新公立病院改革プラン」を策定し取り組んできましたが、平成30年度予算においては収入(約10億2千8百万円)より支出(約10億6千7百万円)の額が多くなり、当初から赤字運営となっており、現状では赤字解消の妙案は無く、当面は美浜、若狭町の両町が赤字分を補てんするしかないと考えます。レイクヒルズ美方病院存続のためにも町民皆様のさらなるご利用をお願いしたいと考えます。

また、3月30日には、平成30年第1回小浜病院組合議会が行われ、以下の議案が決議されました。

一、美浜町議会議員の議席の決定について

18番辻井雅之 19番松下照幸、
20番竹仲良廣に決定しました。

二、公立小浜病院組合議会常任委員選任について
辻井雅之氏に決定しました。

三、平成30年公立小浜病院事業会計予算について
全員賛成で承認されました。

四、平成30年小浜病院組合職員定数条例の一部改正について
小浜病院の職員を15名増員するもので、全員賛成で承認されました。

五、小浜病院組合監査委員の選任同意について
松下照幸氏に決定しました。

(竹仲記)



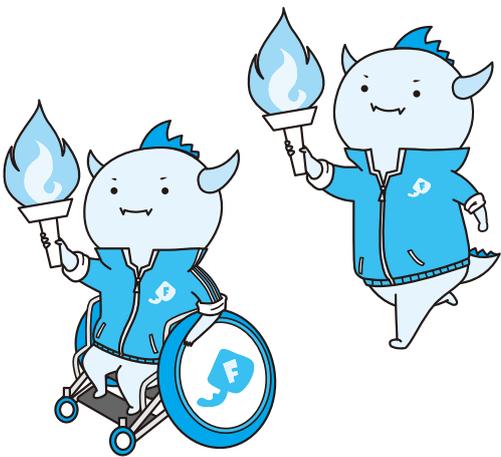
看護学院入学式 (4月5日)

全員協議会

2月の臨時議会前に、今年度30周年記念を迎える記念事業や農業アクションプラン等の説明がありました。

●福井しあわせ元気国体・大会について

今年開催される福井国体について、美浜町での開催競技であるボートと軟式野球の説明がありました。開催日については、ボートは9月30日～10月3日の4日間、軟式野球は10月5日～8日の4日間となります。今後は、国体実行委員会で話し合いが持たれます。その他、ボランティア等の協力のお願いの要請がありました。



●台湾石門区姉妹都市提携30周年記念事業について

昭和63年8月10日に締結した美浜町と台湾新北市石門区の姉妹都市提携が30周年を迎えるにあたり、今年の8月4日に、台湾において記念式典と祝賀会が挙行されます。台訪予定者は議会・行政・美浜中生徒・過去のホームステイ参加者・ライオンズクラブ・一般参加を含め100名程度の予定です。



●美浜町農業アクションプランについて

平成30年度農業アクションプランについては、現行アクションプランの実績や効果等を詳細に検証し、現状を分析把握すると同時に、各々からの意見も取りまとめ「美浜町

農業基本計画推進委員会」において協議し、アクションプラン（案）としてまとめました。

平成30年度は「いきいき農業サポートプラン推進事業」として30事業を展開します。



種子種苗生産供給施設（佐野区）

◎久々子湖再生強化事業（案）について

本事業は、久々子湖の自然を再生させるため、中長期的・総合的に行う事業であり、平成30年に再度申請予定の三方五湖世界農業遺産登録に向けたア

クションプランとして、また観光（三方五湖ゾーン）と体験学習の強化等を図るため、モニタリングを行いながら必要な対応策を展開するものです。

◎第30回美浜・五木ひろしまラソン記念事業について

今年、第30回を迎える美浜・五木ひろしまラソンは5月13日（日）に開催します。前日にはチャリティコンサートを3年振りに開催します。また、30周年を記念してのモニユメントの除幕等も実施されます。（辻井記）



美浜・五木ひろしまラソン

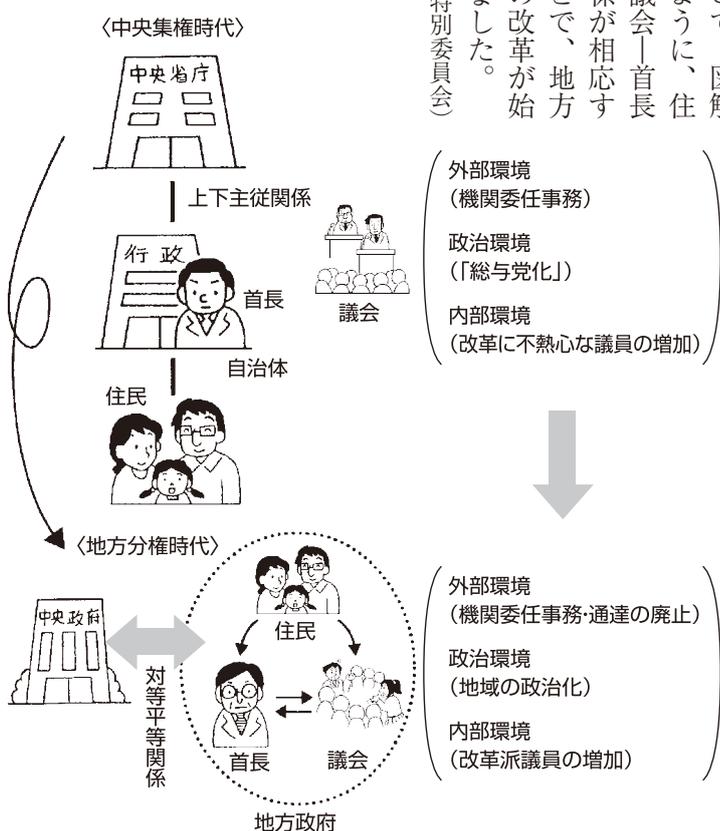
知っ得議会議会シリーズ⑧

「地方分権から変わった議会」

今号から、この欄は図解を取り入れて、議会をとりまく状況をわかりやすく知っていただくコーナーとします。

10年前位から、全国の地方議会の改革が進み、従来の中央集権時代から地方分権時代の議会に変化してきました。議会の役割は一般的に、公開と討議を前提として、政治的争点の集約機能、討議による政策の決定、及び2元代表制の下での政策と執行機関に対する監視機能ですが、十分に役割を果たせませんでした。

そこで、図解したように、住民―議会―首長の関係が相応すること、地方議会の改革が始まりました。（広報特別委員会）



桜花満開…。ピッカピカの1年生は希望で満開。

春爛漫の4月5日は町内3つの保育園で入園式が行われ、6日は3つの小学校と1つの中学校で一斉に入学式が挙行されました。[写真は、一部の保育園と小学校の掲載とさせていただきます。]

☆ みずうみ保育園入園式 ☆



みずうみ保育園では、ご両親や祖父母の間に挟まれて15名の乳幼児の皆さんが入園しました。大広間では、お兄ちゃんやお姉ちゃんの元気な歌で始まり園長先生からはミッキーの人形の歓迎がありました。



☆ 美浜東小学校入学式 ☆



美浜東小学校では、3月に保育園を卒園した児童19名が6年生と手をつなぎ、会場に入場しました。緊張感も見えますが、担任の先生が呼ぶ自分の名前に大きな声で返事が出来ました。

☆ 美浜中学校入学式 ☆



美浜中学校では、町内3校の小学校の卒業生と敦賀から1名の全56名の入学式となりました。中学校始まって以来の少人数となりましたが1人で2人分の頑張り期待しています。

編集後記

第17期美浜町議会は、新たな議長・副議長が就任され、議会構成も変わりスタートを切りました。議会広報特別委員会のメンバーも新議員が2名加わり、第1回の編集委員会を開き、今年度の「議会だより」の基本構想を話し合いました。

今は4月3日、この編集後記をパソコンで作成していますが、外は桜の花が満開で春爛漫です。新入学、新入社等の新鮮な季節で新・NEWが映える季節です。

広報特別委員会も心新たに「議会だより」を発行して参りますので、皆さまのご意見やアドバイスを宜しくお願い致します。(辻井記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 辻井 雅之
- 【副委員長】 寺田 順一
- 【委員】 竹仲 良廣・兵庫 賢一
- 山口 和治・崎元 良栄
- 高橋 修